

生誕地に初代クラウン像

トヨタ工場 高岡の竹中銅器制作



竹中銅器が手掛けた初代クラウン像
|| 愛知県豊田市

竹中銅器(高岡市美幸町、竹中伸行社長)は、トヨタ自動車主力拠点の元町工場(愛知県豊田市)の60周年を記念して敷地内に設置した「初代クラウン像」の制作を手掛けた。

高級セタンのクラウンは
国産初の本格乗用車で、歴代モデルが元町工場生産されてきた。「生誕の地」の60周年を記念して、トヨタ自動車が高岡の竹中銅器に初代像の制作を依頼した。

像は青銅製で、実物の5分の1のサイズ。エンブレ

ムやナンバーの字体まで忠実に再現した。車体は黒く塗り、ミラーやバンパーはプラチナ箔で高級感を演出した。

竹中社長は「制作を通じてトヨタの原点に触れ、良い製品を生み出していかねばならないという思いを強くした」と話した。